

DOTS実施
レポート 4

2021/01/15

Web交流プログラム「DOTS」3回目

🌟 実施概要

日時: 2021年1月15日(金) 16:20 ~17:00

場所: リモートサポート体制による実施(Zoom使用)

内容: ①英語を使った自己紹介と好きなこと

②フリータイム(質疑応答)

参加者: 富田中学校 生徒会執行部 13名

カプタ小学校 7年生 5名

動画:当日の様子



🌟 参加生徒

富田中学校

今年就任した新執行部メンバー 13名(内2名は前回は参加)が参加



カプタ小学校

日本の中学1年生にあたる7年生のうち5名が参加。今回は初交流となった



富中生による「手洗い方法」動画完成!

前回の交流で、保健委員会の取組が注目され、マラウイ側から「手洗いの方法」について教えてほしいとの要望があった。その要望を受け、富中生自らが手洗いの手順を説明する動画を作成。手を洗っている様子とともに、手順のポイントを英語やイラストを使って説明するという工夫があるので、とてもわかりやすい動画になっている。カプタ小では、今後この動画をもとに手洗い手順の指導が生徒主体で行われていく。

緊急事態宣言の発出を受けて(日本側)

今回は、Colorbathスタッフが学校現場からファシリテーションを行っている。今回もその予定であったが、緊急事態宣言の発出を受け、Colorbathスタッフによるサポートも、遠隔からのリモートサポートの体制へと切り替えた。そのため、富田中学校とは事前に何回かネット環境や端末操作、当日の椅子等の配置確認を行った。12月には学校全体のネット環境が改善され(無線LANが配置された)、新たなタブレット端末(iPad)が支給されこともあり、それらを活用した実施を試みた

交流内容

新メンバーによる自己紹介

互いを知り、仲を深めることを目的に実施。
「名前、好きなもの」をテーマに一人ずつカメラの前に座り、
相手に向かって自己紹介をしていく。



- ・今回から、双方ともに新たなメンバーでの交流となったため、英語による互いの自己紹介を行った。
- ・富田中からは、担当教員によって英語で作成された新生徒会執行部の生徒リストを、事前にカプタ小へ共有。生徒の顔と名前を少しでも早く覚えてもらえるようにとの思いが込められていた。
- ・富中生は自己紹介時に、自分の名前だけでなく好きなことについて話してくれた。それを聞いたカプタ小生徒も自分の好きなことを紹介。「サッカー」や「物語を書くこと」「テレビを見ること」などマラウイ側と好きなことへの共通点が見つかるたびに、日本側では歓声があがり、嬉しそうにみんなで盛り上がっていた。

フリータイム(質疑応答)

事前に考えていた質問や自己紹介を終えて
もっと聞いてみたいことを互いに共有する時間。
発表したい人から1人ずつ質問していく。



- ・自己紹介を終え、真っ先に質問したいと手が挙がったのは富中生。前生徒会執行部の先輩たちによるこれまでの交流内容の中で話題が上がっていた「手洗い活動」の状況を聞きたいとの質問があがった。
- ・この質問に対し答えてくれたのはマラウイ側の先生。「素晴らしい動画だよ!」と大絶賛。先生自身もこれまでに正しい手洗手順を教わる機会がなかったため、この動画から学んだことがたくさんあったとのこと。1月上旬に日本側から動画をマラウイへ共有したばかりということもあり、まだ生徒には見せることができていないとのことだった。しかし、これから手洗いプロジェクトとしてリーダー生徒に動画をみせながら指導し、その生徒から他の生徒へと指導できるようにしていくつもりだ、と共有された。
- ・自己紹介の中で、好きなことが「サッカー」と共通点が見つかった富中生から、サッカー好きのカプタ小生徒に「どのチームが好き?」「選手はだれが好きなの?」と質問。互いに「リバプール」が好きだということがわかり、選手の話題で話が盛り上がっていた。はじめは互いに恥ずかしそうにしていたが、「共通点」が見つかったことにより、国を超えて友達になる瞬間がみられた。
- ・同様に、「小説を書くこと・本を読むこと」が好きだと話していた生徒同士では、「どんな物語を書くの?」という質問から、カプタ小の生徒が実際に書いているストーリーを英語で話してくれた。マラウイ英語の訛りもあり、すべての内容を把握することは難しかったが、マラウイにとっても母国語ではない英語を使いながら物語を書いている生徒に対して、富中生は刺激を受けたようだった。



環境整備

	日本	マラウイ
アプリケーション	Zoom	Zoom
デバイス	富田中学校のタブレット(iPad) ※教育委員会から支給されたもの	教員用パソコン(Mac Book)
インターネット	無線LANのWi-Fiを使用 12月に学校のネット環境工事が行われ、 無線LANのWi-Fiが使用できるようになった。	教員のスマホからテザリング ネット速度:安定
モニター	大型TVモニター	なし。パソコン画面のみで対応
カメラ・マイク	タブレット内蔵(iPad)	Macに内蔵されている

今回の交流では、急遽、ColorbathスタッフがZoomで参加するというフルオンライン体制での実施となった。交流開始直後、マラウイ側がインターネット環境にPCがうまく繋がれなかったため、Facebookメッセージのグループトーク(TV電話)への切り替えの提案をさせていただいた際、富中の先生が臨機応変に対応してくださってとても助かった。結果的にZoomで実施できたものの、富中のネット回線速度が遅かったこともあり、少しタイムラグや画像の乱れがみられた。(回線速度については交流後に改善済み)

参加した生徒の感想(一部抜粋)

- 日本もマラウイもお互いを知ることができ、一人ひとりの個性や好きなことも知ることができて、交流を楽しむことができた。
- 前の執行部の先輩方が作成していた手洗い動画が、マラウイでも役に立っていると聞いてとてもうれしかった。マラウイがどんな国かとても知りたくなった。
- 話せる言葉も違うし、文化も違うけれど、藤山さんやサリーさんのように同じ話題について話し合い、共感できたり、熱心に話したりできるのはすごく素敵だなとおもった。大切なのは、言語とかだけでなく、相手をわかろうとする心なのだと学んだ。
- サッカー好きな少年と友達になれてよかった。もっと日本文化などを教えて、日本のことを好きになってほしいです。
- 次は質問をもっと考えてすぐに発表できるようにしておきたい。他の国の人も友達になりたいとおもった。野球ももっと知ってほしいので教えられるようになりたい。
- 藤山くんがプレシャスさんと友達になっていてすごいなとおもった。次回は藤山くんを見習ってハキハキ喋れるようにしたいと思った。

これからの交流にむけて

次回の交流

- 日程: 2021年2月26日(金)16:15 ~ 17:15(予定)
- 参加生徒: 新生徒会執行部(富田中学校)、7年生の生徒(カプタ小学校)
- 交流内容: ①手洗いプロジェクトの実施報告(マラウイ)
②互いの夢(志)について